

ブラジルの利上げについて

<5回連続利上げ>

7月20日(現地時間)、ブラジル中央銀行は金融政策委員会において政策金利を0.25%引き上げ、12.5%とすることを決定しました。今年に入り5回連続の利上げとなります。

発表された声明文は、「予想されるシナリオとインフレリスクの均衡を考慮し、全会一致で利上げを決定した」という短い内容で、前回まで使われていた緩やかな利上げ継続の必要性を示す文言が削除されており、市場の一部では、今回で利上げが打ち止めになるとの見方も出ています。

<ブラジルレアルは高値を更新>

ブラジルレアルは、当局の様々なレアル高抑制措置にもかかわらず対ドルで上昇を続けています。7月4日には一時約12年ぶりの高値水準となる、1米ドル=1.5524レアルを付けました。マンテガ財務相は再度「通貨戦争」の文言を使ってレアル高懸念を表明、8日にはブラジル中央銀行が為替の持ち高に関する規制強化を行っています。また、レアル高抑制の更なる規制強化を検討していると報道されています。20日海外終値では、1米ドル=1.565レアル、1レアル=50.36円程度、となっています。

<景気と物価の状況、インフレはターゲット超過>

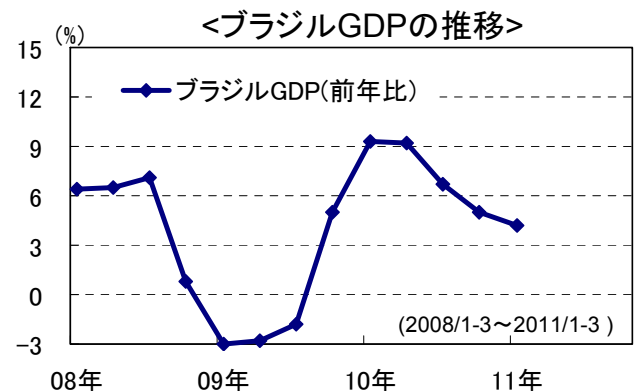
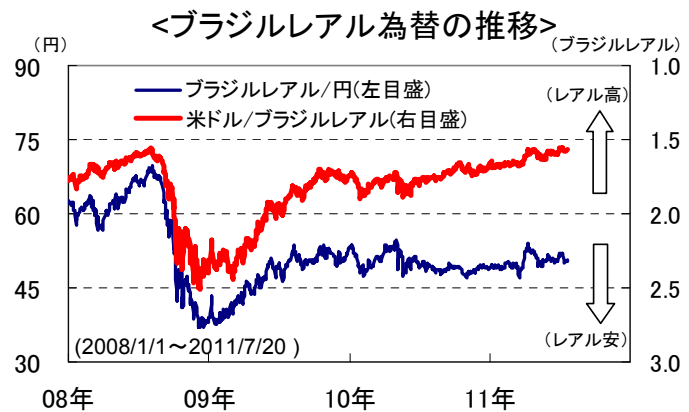
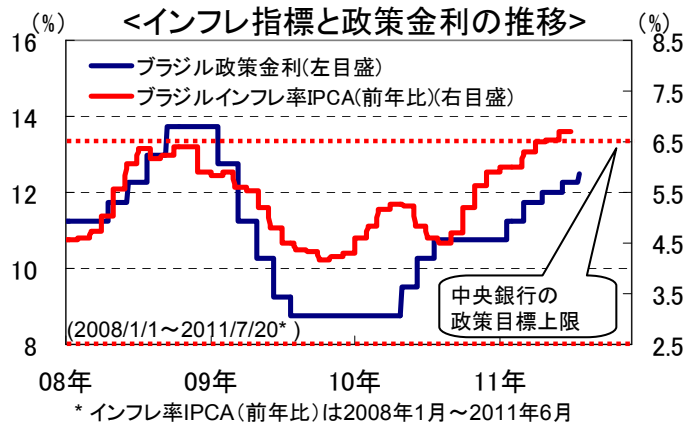
ブラジル経済は一時より減速していますが堅調に推移しています。物価は昨年より上昇を続けており、特に、今年4月以降は、消費者物価指数はブラジル中央銀行が設定する2011年物価上昇率目標(インフレターゲット)の上限(6.50%)を超過している状況です。

<金融政策及び為替の見通し>

ブラジル中央銀行は、インフレ対応として昨年来利上げを継続してきましたが、足元でその効果を見極めるため様子見に入ることを示唆しています。

しかしながら、商品価格は一旦落ち着きをみせているものの、賃金等ブラジル国内のインフレ圧力は強く、容易にインフレ懸念が払拭できる状態ではないと思われます。そのため、従来ほどの頻度ではないものの、ブラジル中央銀行は引き続き利上げを検討していくものと思われます。

高金利に加え資源国通貨であるブラジルレアルには、相対的に資金が集まりやすいと思われ、今後も基調としてはレアル高の動きが継続すると予想されます。



出所: Bloomberg

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。
■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
加入協会 (社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引によりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会: 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会